

## 洞爺湖・豊浦合同中学生野球チーム 西胆振で優勝し全道大会出場

田中学校、洞爺中学校、豊浦中学校各野球部の合同チーム「洞爺湖豊浦連合クラブ」の選手3人が、10月4日に網島教育長を表敬訪問し、全道大会にむけて決意を述べました。

同チームは、9月6日伊達市で開催されたαSPORTS旗争奪第60回西胆振中学校新人野球大会で優勝し、全道大会への切符を手に入れました。

10月9日に滝川市で開催された第7回全日本少年春季軟式野球北海道予選会・第12回北海道中学校軟式野球選抜選手権大会では、初戦を延長の末勝利し突破しましたが、

2回戦では、惜しくも1対0で破れました。



全道大会への出場を報告する選手ら

10月9日、ななかまどの会（坂井千枝会長）が主催す



網島教育長に寄付の目録を手渡す坂井会長（左）

る、秋の夜長をダンスで楽しむ「ななかまどの夕べ」が、洞爺湖文化センターで開催され、約150人の参加者が、社交ダンスや抽選会で盛り上がりしました。

開催に先立ち、ななかまど文庫とボランティア振興基金に、収益金の一部5万円がそれぞれ贈呈され、坂井会長から網島教育長と大久保社会福祉協議会会長に目録が手渡されました。

挨拶で、坂井会長は「会員の減少と高齢化のため、21年間続けてきたななかまどの夕べを今回で閉じたいと思います。支援者の皆さん、参加者の皆さんこれまでありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。

## チャリティななかまどの夕べ 21年間の開催に終止符

郷土の歴史を学ぶ文化財ウォークラリー（教育委員会主催）が、



藤棚（栄藤）の前で三谷学芸員の説明を聞く参加者ら

「旧洞爺村の歴史を歩く」をテーマに10月10日行われ、ゲンキッズの児童や町民など約30人が参加しました。

洞爺総合センターをスタートした参加者は、最初の訪問地浮見堂を目指してウォーキング。その後栄藤、洞爺郷土資料室、八幡神社、老三樹、洞爺湖芸術館を三谷学芸員の説明を聞きながら順番に巡り、最終地点の頌徳碑に到着しました。特に洞爺郷土資料室は、ほとんどの人が入ったことがなく、興味を持って見学していました。

## 郷土の歴史を歩いて学ぶ 文化財ウォークラリー

## 旬の食材で料理の腕磨く 食改の季節の料理教室

旬の地場産品を味わう季節の料理教室（洞爺湖町食生活改善推進員協議会主催）が、10月27日健康福祉センターさわかで、同会員や町民など約15人が参加して行われました。収穫の秋を迎え、地元の野菜のおいしさを知ってもらおうと昨年に続いて開催。



旬の食材で楽しく調理する参加者ら

当日のメニューは、「ながいもの和風コロッケ」、「たまねぎとしょうがのサラダ」、「ごぼうスープ」の3品で、会員の皆さんの指導を受けながら、手際よく完成させました。

参加者は「習ったものを家でも作り、レパートリーが広がった」と料理教室を楽しんでいました。

まちのわだい